

気管・気管支憩室と間質性肺炎（呼吸器内科）

臨床研究の名称	間質性肺炎と気管・気管支憩室の関連に対する臨床学的後方視的検討
研究責任者の所属・氏名	呼吸器内科 医師 山川 英晃
研究の概要	<p><b>【目的】</b> 気管・気管支憩室は胸部 CT 検査で偶発的に指摘されることが多いものです。この気管・気管支憩室と間質性肺炎の関連の報告は今までにほとんどありません。さらに気管・気管支憩室は気胸発症と関連があるかもしれません。間質性肺炎の患者様には気胸はしばしば合併し、また予後を不良にする因子として知られております。そのため気管・気管支憩室をもつ間質性肺炎の患者様が、どのような疾患経過をたどるのか、さらには気胸発症率が高いのかを明らかにすることを目的とし後方視的に検討します。</p> <p><b>【対象患者】</b> 当院において 2018 年 4 月 1 日から 2021 年 10 月 31 日までに間質性肺炎の診断をされ気管・気管支憩室を有する患者様。</p> <p><b>【研究期間】</b> 2022 年 1 月 11 日から 2024 年 3 月 31 日まで</p> <p><b>【方法】</b> 間質性肺炎の診断時の検査値・画像および臨床経過を調べ、適切な解析手法により検討する。</p> <p><b>【使用する情報】</b> 年齢・性別・検査結果（血液・呼吸機能・画像）・臨床経過</p> <p><b>【個人情報の取り扱い】</b> 本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き、院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません。また研究結果を学会や論文などで報告する場合も、報告内容に個人を特定できる情報は一切含みません。もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合は速やかに研究利用対象からはずさせていただきます。ただし研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります。</p>
問い合わせ先	呼吸器内科 医師 山川 英晃 〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 さいたま赤十字病院 電話番号 048-852-1111（代表）